

## 84 東京法学院學術演説会

〔「法学新報」第七五号 明治三十年六月三十日〕

## ○法学院學術演説会

法学院に於ては前大審院長三好退藏法学博士穂積陳重、杉浦重剛の三氏を聘して本月三日學術演説会を開きたり当日は法学院大講義室を会場と為し午後三時開会菊池院長開会の趣旨を述べ三好、穂積の両氏順次登壇し両氏とも二時余に渉るの間最も熱心に學術上有益なる講談を為されたり当日の出席者無慮千余名にて演説会を終り講師評議員一堂に会して晚餐会を催したり当日杉浦氏は突然差岡の事起りて出席せられさりしは遺憾なりき因記法学院にては今後毎月一回つゝ朝野知名の学者を聘して講談会を開く筈にて次回には加藤弘之、杉浦重剛其他二三名の講談ある予定なりと云ふ又三好穂積両氏の演説筆記は本号に掲ぐる積りにて其手配を為し置きたる処筆記者病氣の爲めに大に延引し目下両氏の校閲中に付次号には必ず掲載すへし本号の発行期日に遅れたるは右筆記の間に合はさりしか爲めなり読者諒焉